

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア	イ
・問題解決に必要な情報を集め、読み取る力	・考えたことや選択・判断したことを表現する力

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第3学年	ア 資料から必要な情報を読み取ること。 イ 相手に分かるように自分の考えを表現すること。	ア 写真資料や地図などの視覚的な教材を活用する。観察や見学などの調査活動を行う。 イ 自分の考えを絵地図や図表に表現させる。自分の考えを説明する時には理由を明らかにさせる。	アイ わたしたちのまちのしごと・安全な暮らしをまもる	
第4学年	ア 資料から必要な情報を読み取り、資料に表されている事柄の全体的な傾向を捉えること。 イ 事実に基づいて自分の考えをもち、根拠を明らかにして表現すること。	ア 写真資料やグラフなどの視覚的な教材を活用する。資料を読み取るポイント（方位・表題・年次・縦軸・横軸など）を明示する。 イ 自分の考えを図表や地図、文章などで表す際に、根拠を明らかにさせる。	アイ 住みよいくらしをつくる・私たちの東京都	
第5学年	ア 複数の資料を関連付けて読み取ること。 イ 根拠や解釈を示しながら、論理的に自分の考えを表現すること。	ア 資料相互の関係に注目させたり、比較させたりして、読み取れる情報の違いや共通点に気付かせる。 イ 資料から読み取った事実を基に、論理的に文章や関係図などで表現させる。関連する別の事実にも気付かせる。	アイ わたしたちの生活と工業生産・情報化した社会とわたしたちの生活	
第6学年	ア 資料の背景となる事象や原因などを読み取ること。 イ いろいろな事実を関連させて、論理的に自分の考えを表現すること。	ア 問いに対して予測を立てた上で、自分の考えと比較しながら読み取らせる。複数の情報を総合的に捉えさせ、社会的事象を導き出させる。 イ 社会的事象の意味について、文章や関係図、年表などで表現させる。互いの立場や根拠を明らかにして、結論を導かせる。	アイ 日本の歴史・わたしたちの生活と政治	

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>3年 様々な形態で考えたことや分かったことなどを伝え合う活動を行う。</p> <p>4年 調べたことやまとめたことなどを話し合う活動を行う。</p> <p>5年 自分の考えを説明する、理解し合うなどの話し合い活動を行う。</p> <p>6年 自分の考えを説明する、理解し合うなどの話し合い活動を行う。</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>3年 学習過程を振り返り、次時への見通しをもたせる活動を行う。</p> <p>4年 学習過程を振り返り、次時の学習問題を考える活動を行う。</p> <p>5年 学習問題を振り返り、授業のまとめを学級全体で確認する活動を行う。</p> <p>6年 学習問題と本時に学習したことを振り返り、授業のまとめを学級全体で確認するとともに、次時の問題を考える活動を行う。</p>
--	---